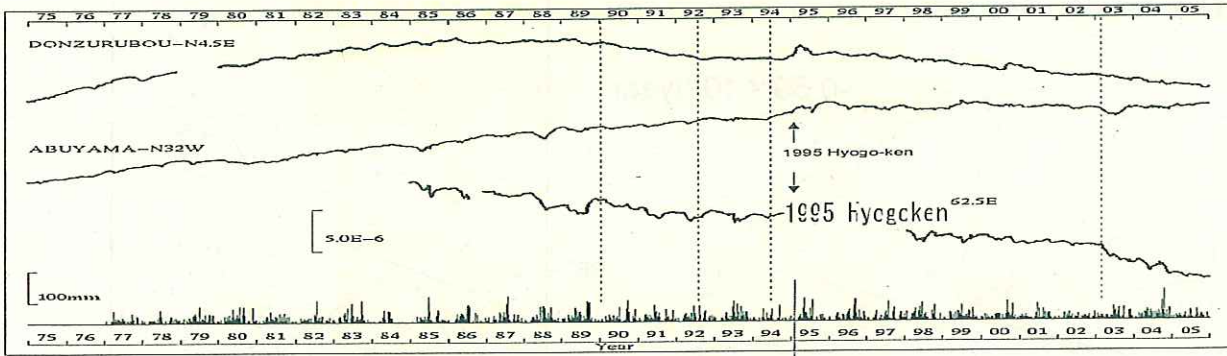


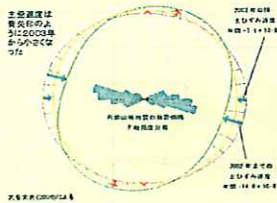
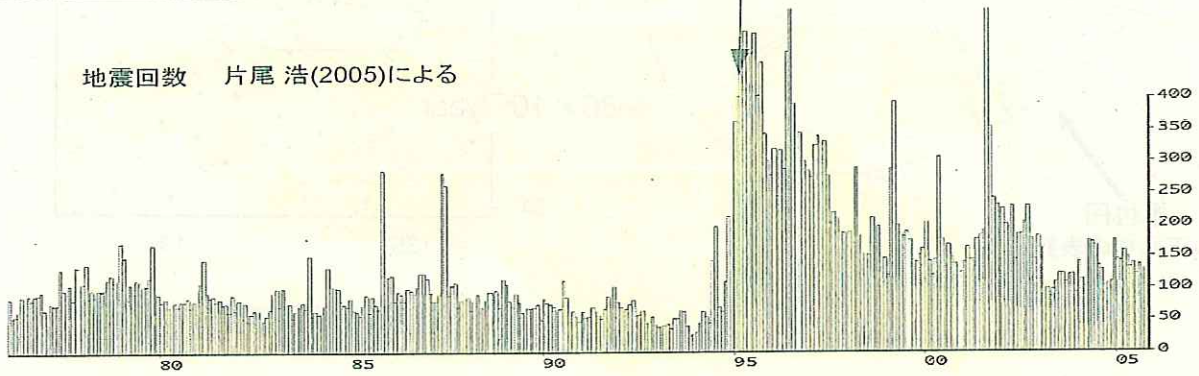
上：過去30年間の歪と地震回数 下：地震活動の変化を説明するモデル

過去30年間の歪記録

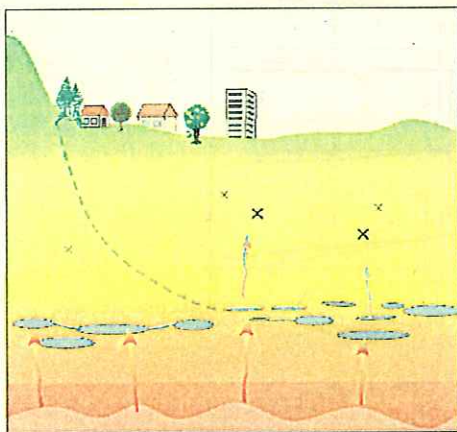
森井互(2006)による



地震回数 片尾 浩(2005)による

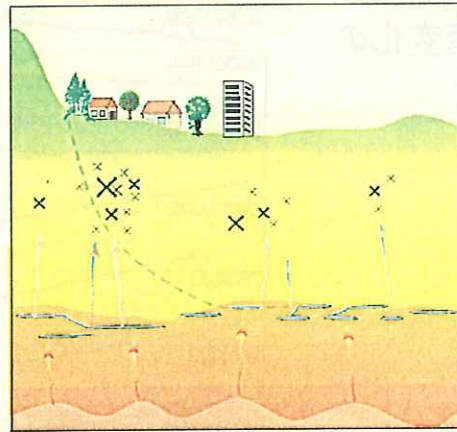


地震数が減る前に、歪速度が減少した



地震の静穏化

地震発生層の間隙水圧の低下
↑
反射体の目づまり



地震の活発化

地震発生層の間隙水圧の上昇
↑
目づまりがやぶれる

地殻変動/地下水異常

減 ← → 増
わずかな応力(歪)変化